



定 一月五元 廣 五元 刊 休 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五
 價 郵 稅 五元 科 字 詰 一 行 日 祝 日 翌 日 常 磐 日 新 報 社 電 話 六 三 〇 番

日刊 發行編輯人 川崎文治 本社内(電話六三〇番) 印刷所 常磐毎日印刷所

刊夕日六月六

世界を支配するは
我大日本帝國のみ

城山 大和田豊吉

今や此モノロー主義を弊履の如くに打ち棄て、歐洲大戰亂に後ればせに參加したのであるから米國には國體主義の根本方針の確定したるものを持つて居ない之に引き換へて

○我が帝國には國體主義の根本方針が二千五百年以前來否其實は其前歴史家は何と年代を數ふるかは知らんが天祖天照大神より嚴然として國家の根本方針が立つてゐる、それは吾人の稱

する國家の縦の使命と申すべきものであつて天祖の御神勅に明に訓示せられて居るのである、其神勅は次の如くである、豊原の千五百秋の瑞穂國は是吾子孫の王たるべき地なり宜しく爾皇孫就て治らすべし行けや寶祚の隆えまさんこと當に天壤と窮まり無かるべし

之に對する横の使命と稱すべきものは國民の抱負とも申すべき大古伊勢にまします皇太神宮に奏上すべき宣命を始めとして神武天皇の勅語に御示しになつた、養正、積慶、重暉の三大方針即三大國策にして代々の聖天子の勅語は皆一括して横の使命と申すべきものである、要するに君臣一体忠孝一致

にして義を行ひ道を踏み我が皇國の宇内に尊き所以を發揮して以て我が大日本國民たる事を稱するを得べし是れ我國體の世界に誇るに足る、所以であると思ふのであります、八あり吾人に問ふて曰く我が尊嚴なる國體は既に明かに指示せられて居る併しながら國は小く海面のみ割合に多くして然も國民は年々に多大に増加するは之を如何にせんと吾人之に答へて曰く國は割合に小く開墾地割合に狭くとも東京日々新聞社長本山彦一氏は會て富民協會を開會せられ一昨年以來最も力を注いで米の多收獲を奨励せられ田一反歩からとれたけ多收獲が出来得るか云ふに一年は滋賀縣で七石五斗又昨年が島根縣で八石四斗一升を實收するやうになり既に農林大臣より特別賞杯をも受けて居ります

常磐文藝

處女のもだい

相馬 荒川赤水

◇うつし身のこの黒髪もあだなれや
 ◇今年もさびし秋は來にけり
 ◇ふくらみし雨の乳房うらのけく
 ◇古るき友らの文を見るかな
 ◇咲きはこるダリヤの花もあはれにも
 手折る人なく秋風に散る

耳鼻咽喉科専門
 氣管食道科
 平町南町(舊診療所向)電話一七〇番
大和田醫院

移轉廣告
 外科 性病科 科
 ×光線科
 平町田町(赤心堂病院跡)
安齊外科醫院
 電話四七五番

外科 專光×
 門線科
上田外科醫院
 平町南町
 電話一二九番

久能木式石油コンロ
 ▲燃料經濟日本一 ▲今が需要最好期
 部分品附屬品修理修繕 平町
 御一報次第實物持參 城山 **吉田藥舖**

切斷の苦しみなく……
 阿康藥舖
 縣社下古鍛冶町(電話四四番)
 子宮あたためぐすり
宮温湯 冷之性の御婦人にヨクアタマ
 丹波博士創製 冷之性の御婦人にヨクアタマ
 セキ トメ たんばあめ うまくてセキ
 がヨクトマル

内臓外科 醫學博士 **藤本 順**
 整形外科
 婦人科 院長 **木村寅次郎**
 平町新川町
 電話一六四番 **木村病院**

磐城炭礦 最優等炭
 ◎石炭 正味十貫目 一俵 金六十錢
 東京瓦斯コークス一等品
 ◎コークス 一俵 金一圓二十錢
 本炭代用、無煙無臭、家庭用炭
 ◎玉炭 一箱 金貳圓也
 石炭は目方の正確を期する爲め正味な貫目を一俵の標準と定めました
 ◎配達迅速 (電話二三七番)
 磐城炭礦販賣總代理店
阿部石炭商店

清涼水の検査は

夏季中再三行ふ

傳染病豫防に留意し

平署が不良品押収

眞夏が来たかと思ふと憂鬱な雨が降つて来て早くも梅雨期に入つたのではあるまいかと思はせるこの季節は、一年のうち一番傳染病が流行し幾多の犠牲者を出す時となつてゐるがこの傳染病の發生はその大部分は不良飲料水等が原因となることが多いのでこの點に留意した平署では飲料水検査の必要を認め過般來

執行中

だつたがその結果おびたゞしい不良品を押収した、この結果から推して飲料水の検査は一度にだけ止めておくものではないことを知り特に同署では夏期中検査を再三行ふことになつた

繭を運搬

四倉市場で

石城郡四ツ倉繭市場では來る九日から十六日まで春繭出盛り中五台の自動車を用意し同市場を中心として約五里四方に於ける出張格付の繭を運搬する事になつた

鎌田の鐵橋

完成延期か

請負の關係で平驛の東方夏井川鐵橋は列

家調初會議

九日と決定

平町第一次家屋税調査委員會議は來る九日午前九時より元商業學校内町會々議室に於て開會第二次家屋調査委員選舉の件及昭和五年度家屋賃賃價格調査の件に關し協議する由

警城高女の

寄宿を襲ふ

學校荒し 専門の賊

平町地方に學校専門の賊が現れ警城高女寄宿舎その他數ヶ所を荒し廻つたので平署では各所に手配捜査中

平第二仙台へ

二小學校尋常六年生百九十九名は修學旅行の爲め佐藤校長を始め各受持訓練に引卒され本日前五時四十分平驛を出發したが仙台、松島、鹽釜等を見學し明夕六時三十分平驛着で歸平する由

◆信榮母の會 平町材木町信榮幼稚園母の會は明七日午前十一時から開かれる筈であるが開會前佐藤牧師夫人の「サラダの作り方」あり定刻にアレクサン先生の講話あつて晝食を共にしくつろいだ午後三時を過ぎ

コップ酒を引ッ掛け

三人前の飯をペロリ

無賃乗車で空腹に堪へず 平町に下車した男

昨夜午後八時頃平町字南町簡易食堂北村トク方に年齢三十四五歳の一見

労働者

風の男が来りコップ酒一杯を引ッ掛けを取り寄せさも甘さうに三人前の飯を半げたが懐中無一物にて支拂が出来ぬので北村方では平署へつき出したが石の男は岩手縣澤内田村大字大野第五地割當時住所不定大島機治(三)として最近まで肩書地で働いて居たが不景氣の爲め解雇されたので職を求めに家を出たもの、

無一文

の爲め同縣

如來寺棟上式

石城郡四ツ倉町如來寺では豫てより同寺庫裡建築中の處來る十日午前十時より棟上式を舉行する由

男の歳六十四

ゼヒ徴兵検査を

受け度いと出頭

平署で涙の陳述

小雨降る五日午前十時頃神天着四十五六才の男が平署の兵學係橋本部長の前に出頭正直さうな顔で語り出した
私は石城郡神谷村大字片寄に住んでゐる田中純義(三)と申す者で本籍は平町字道匠小路一番地なのですがこの年になる迄徴兵検査を受けなかつた、男子と生れ日本國民として兵役の義務を果さなければ申し譯がないと常に思つてゐたが今日まで延びてゐました、思

平町物價

品名	量目	價格
白米	一等一キロ	二〇〇
	二等	一九五
	三等	一九〇
白麥	同	一六〇
平麥	同	一六〇
味噌	一貫	七〇〇
醬油	一升	六〇〇
清酒	同	六〇〇
木炭	拾丸一貫	二七〇
	同	二七〇
砂糖	同	二〇〇
赤糖	同	二〇〇
上肉	同	四〇〇
並肉	同	三〇〇
下肉	同	三〇〇
牛肉	同	三〇〇
猪肉	同	三〇〇

耳の兎

勞農・ロシヤ政府の恐ろしい買物 英國のウイカース會社では今回マクドナルド政府の許可を得て勞農政府との間に軍用大タック四十臺賣却の商約を締結した、勞農政府は此の恐ろしい買物の爲に頗る充分な金額を蓄積したと傳へられてゐる、元來此のタンク

常磐片々

平町の刑事連昨日の本欄「刑事は何人」云々を讀んで眞ッ赤になつて怒つたさうな
怒るだけ見所がある、口惜しかつたら早く掴めることナ、其上でモノを聞かふゼ
ソラ學校荒しも赤い舌をペロリ
イツでも松前鐵之助を氣取つて「取り逃したか残念ナカツ、カツ、カツ」では、コチラが參つちまふ
名探偵か何んかの積りでフトコロ手でブラリ、刑事を看板に掛けて居ちやあ泥的は逃げますヨ、人相を修繕なさいヨ
解つたかネ「氣を付ケイオ一イッ」

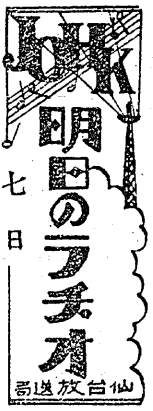
社告

中村支局長

笹舟 齊藤亀五郎

右今般入社し相馬双葉兩郡の通信其他の社務擔當候間宜敷願上候

本木町田中正雄(弟)小學き大工として轉々働いたが校は平町で三年修業したのみで家が貧しいため十四歳の時隣の内郷村大字御厩大工職野木宇之助方の弟子となり十六才の春大望を抱いて無薪親方の家から出たのである
先づ東京から京都、京都から大阪、大阪から名古屋、それから再び東京、千葉、栃木の各府縣を請負師につ念がつて立ちさつた



今晩も明日も北寄りの風晴れたり曇つたり

前九・一〇 料理献立
「錦豆腐」柴山さだ發表
日用品値段「履物類」
前二〇・三〇 家庭講座
「衣類と人生」佐々木喜善

座「これから多くなる乳幼児の消化不良」榮養障
碍 第一講醫學博士庄司謙二
後八〇〇 連續講談
「黒田騒動第四席」神田伯龍

これから多くなる
乳幼児の消化不良

これから盛夏の候に入ると
従つて乳幼児の消化不良が
多くなりやすくなる...

東明流

此君

柳舟作詞
柳舟作曲
東明 花舟
東明 吟種
東明 雪舟

めでござる雨が降るときや
葉色がまざるヨイヤサ
本調子一此君の利用は都鄙に
あまねく離に結び穂に用

越前屋の 店の手傳
を兩人にする串になつたが
後妻の仕打に腹を立て、兩
人は越前屋を出て成る野邊

映畫物語
春風の彼方へ

三吉は無實の罪にて人生の
最も華やかなるべき期間を
牢獄に暮し出て来た時始め

岡引清吉
に依て前
科者である事が知れた爲何
處に於ても働け可き口を見

錦豆腐

頼む處へ 清吉が双
物を因かして三吉に斬つて
掛つたので彼を斃し二三日
の後三吉お町茶公の三人は

▽材料(八人前)ヒキゴブ
十分の一、牛蒡中太のもの
味淋三勺、菜菔豆ト個

▽作り方 ヒキゴブを洗つ
て水に三十分極浸し柔かに
なりました時水から取り上

兒童劇
瓜子姫と天探女

原作 刈田折柴
出演 H.K.子供會
伴奏 オークストラ

瓜姫と天探女
瓜姫は、奥州に、お爺
さんとお婆さんとかありま
した。或日お爺さんはお山



國産精工舎製

腕時計 セイコー
提時計 エンバイヤ
平町五丁目

特約店 金光堂時計店
電話三七六番

眼に
青葉

食通の好季節
初夏の内容完備しました

樽詰生ビール
ソーダファンテン

西洋料理 カフェーボタン
新郵便局裏 (電八五四番)

初夏...サロンの新装

店内に新緑の気分を集め、皆様の御期待に添ふ
アイスクリーム (十五錢)

田町 サロン
電話三五二番

看護婦至急募集

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

セメント
壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス

磐城セメント株式会社
代理店 **西村屋薬舗**
平町二丁目(電三)

無料 検眼 TOKIWAYA

眼鏡……遠見視力検査表
を無代で進呈!!

無料検眼開設致シマシタ
専門眼科醫師擔任

御……良品廉賣
客……商品豊富
様……親切丁寧
本……即時調整
位……示度正確

近視 老視 乱視 斜視 遠視

無料検眼券御
利用下サイ

眼鏡部 電話三三九

平町一丁目 **常盤屋時計店**

耳鼻咽喉科専門

場所 (舊診療所裏通り)

合津醫院

平町仲田町(電話五五九)

専門 内科一般

宅診 内科は何でも診療致します
往診 呼吸器病ばかりではありません

平町南町六五(元大和田耳鼻科跡)

川井内科診療所

電話七二二番

醫學士 川井重之
女 醫 川井安子

各種 体毒
寒暖計 電三〇番

喫茶部新設

淋病 梅毒

門專 婦人病 皮膚病 淋病

腸虫 十二指

院醫科 腸胃 村松
(七〇一話電町南平)

氷水開業廣告

氷水を相始めました、本年は左の如く値下げを断行しましたから多少に不拘御用命御引立の程を願上げます

水	四錢	氷あつき	十錢
アイスクリーム	八錢	同しら玉	十錢
あづきアイス	八錢	同玉子水	十五錢
ミルクアイス	八錢	同ラムネ	十五錢
氷セイキ水	一ぱい		
	二十五錢		
	五十錢		

御注文は電話三〇五番へ
出前迅速 藤 市
平町二丁目

婦人女寶圓

子宮妙法湯

能効治主
こしげ、赤血、子宮内膜炎、外膜炎、間質炎、頸管カタル、腫カタル、月經不順、月經痛、子宮痙攣、子宮腫爛、子宮出血、淋毒性、子宮病、尿意ひん促、悪臭、さう痒、子宮の下りゆがみ、子宮悪性腫瘍、その他子宮病一切に宜るし

定價表
女一週分三十五錢
女二週分二十五錢
女三週分十五錢
女四週分十錢
女五週分五錢
女六週分三錢
女七週分二錢
女八週分一錢
女九週分五分
女十週分二分
女十一週分一分
女十二週分五分
女十三週分二分
女十四週分一分
女十五週分五分
女十六週分二分
女十七週分一分
女十八週分五分
女十九週分二分
女二十週分一分
女二十一週分五分
女二十二週分二分
女二十三週分一分
女二十四週分五分
女二十五週分二分
女二十六週分一分
女二十七週分五分
女二十八週分二分
女二十九週分一分
女三十週分五分
女三十一週分二分
女三十二週分一分
女三十三週分五分
女三十四週分二分
女三十五週分一分
女三十六週分五分
女三十七週分二分
女三十八週分一分
女三十九週分五分
女四十週分二分
女四十一週分一分
女四十二週分五分
女四十三週分二分
女四十四週分一分
女四十五週分五分
女四十六週分二分
女四十七週分一分
女四十八週分五分
女四十九週分二分
女五十週分一分

皆様の御氣に召す……

新花 盆栽

三年生十種 組物

1.000
1.500
2.000
3.000

△可愛らしい御子様の爲に
△家庭をよくまもる奥様の爲に
△美しい家庭をより美しくする

平町(大) 加藤昭和園
跡町

特約店
福島縣濱通り七理店
海産物雜穀商
市原商店
平町壹丁目
電話二四四番

お醤油はヤマフル

醬油味噌
たひら正宗
鯉節 食料品

鹽屋

合山崎合名會社

福島縣平町
電話(營業部) 一〇番
(醸造工場) 二七番